

議会報告会実施報告書

開催日時	平成28年4月18日 19時00分 ～ 20時45分
開催場所	西庄公民館
出席議員	(班長) 山条忠文 (司会) 斉藤義明 (記録) 東原 章 (副議長) 大藤匡文 (班員) 東原 章, 鳥飼年幸, 斉藤義明, 植條敬介, 大前寛乗
参加市民数	27人 (男性17人, 女性10人)
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 山条忠文, 大藤匡文 ・出席議員自己紹介 ・委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> 予算概要 山条忠文 総務消防委員会 大前寛乗 教育民生委員会 植條敬介 市民建設委員会 鳥飼年幸 坂出北フルインター 建設促進特別委員会 大前寛乗 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 山条忠文
	<p>質疑応答</p> <p>〈質疑〉 「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまちさかいで」とあるが、他市も同じようなことを言っている。他市と比べて坂出の特色はなにか。</p> <p>〈回答〉 市長の新年度施政方針の中で、昼と夜の人口変動を見た時、昼間の人口は多く夜は少ない。働く町だが住む町にはなっていない。との考えから、市内で働いている人に坂出に住んでもらえるような政策を考えて、実行していかなければならない。また、子育てしたいまちについては、第2子以降の幼児については、保育所、幼稚園を無料化とする。これらは、人口増対策の一環。これから、坂出色を出せるような政策を考えていく。</p> <p>〈回答〉 坂出の特色はということだが、子育てについては保育所、幼稚園の第2子以降の無料化は、観音寺、高松に次いで3市目。いろんなところで幼児については検討されているが、小中学校の学費についても、これから考えてもいいのではないかと思う。</p> <p>〈質疑〉 働きたいとあるが、企業の撤退が多いようだが対策はしているのか。</p>

〈回答〉 市長のトップセールスが大事で、坂出の利点を示すことによって、イオンの配送センターが来たり等、ある程度の成果はでてきている。

〈回答〉 坂出北インターのフルインター化の実現で、企業誘致しやすくなり、企業も来やすくなるのではないかと。他市との差を、どう出していくのかは議会としても、これからの課題であり努力するし市長とも協力していきたい。

〈回答〉 企業立地助成制度をつくり、企業の誘致を図っている。他市との差別化を図る意味でも、坂出商工会議所が作った経営発達支援計画が、経済産業大臣の認定を受け予算化でき、中小企業の支援、育成等に力をいれている。高松では、起業を応援する政策があり、誘致プラス新しく地元企業を作る方針を進めている。企業誘致も大事だが、地元企業にもっと体力を付けてもらうのも大事である。

〈回答〉 人口減少を歯止めすることは、坂出市の直近の課題である。坂出市の特徴の一は、交通の便の良さであり、北インターのフル化によってもっと活かしていきたい。コスモ石油は撤退したが、イオンの物流センターができ、セブンイレブンの配送センターもできている。企業誘致はこれからも続けていく。また、老人施設、介護施設等も多く高齢者に対しても、やさしい町であり、認知症患者への対応は他市より進んでいる。坂出市の良さを他にもっとアピールして定住を促進し、ひいては人口増につなげていきたい。

〈質疑〉 空き家対策は、不動産業者と連携して対応しないと無理。民・官・住民の協力が大事。

〈回答〉 昨年法の改正により、持ち主に解体を促し、従わない時は、行政代執行のもと解体して料金を持ち主に請求ができるようになった。

〈質疑〉 まろプレは、もっと増やせないのか。昨年プレミアム商品券を作ったのだから、その手数料等は安く出来るはずだし、結局自分（商店等）へ売上として返ってくるのだから、増やすべきである。

〈回答〉 まろプレについて、去年は国の政策、予算によって行われた。しかし、今年からは商工会議所が主導で行い、市は独自の予算で支援する形になる。

意見交換

〈質疑〉 特別会計はどういったものか説明してほしい。また、自治会運営補助金のうち、地区連合自治会と町内自治会とあるが町内自治会とは旧市内の自治会のことか。

〈回答〉 特別会計は9会計あり、主なものは国民健康保険、介護保険、下水道の3事業。

〈回答〉 地区連合自治会と各地域の町内自治会のこと、両方に補助

金を出す。

〈質疑〉 緩衝緑地帯を商業施設にしてはどうか。他市では商業施設も何か所かに分かれているが、坂出は駅前だけである。

〈回答〉 番の州企業が進出してきた当初、地元の大気汚染を心配する声のもと、県と企業との取り決めである緑地帯を作った経緯がある。しかし、企業の努力等から、現在はその心配は無くなった。しかし緩衝緑地帯は県と企業が共に運営しているので、それを商業施設にはできない。今後も貴重な緑地帯として、市民の安らぎ憩いの場として活用していく。

〈質疑〉 西庄は出張所がなく自治会の事務等は連合自治会長の仕事で、みんな嫌がっているのが現状である。不公平感がある。そこで、丸亀市のように公民館ではなくコミュニティーとして職員を配置して事務等を助けてほしい。

会計について、一般企業で働いていた者には、市の会計は非常に複雑で分かりにくい。会計方式を複式簿記にしたほうが良い。

今まで、質疑応答を聞いていたが、議員は答弁するのが仕事ではなく市長に対して攻める側である。みんなの意見を聞くのは良い事で、次の議会に生かすようにしてほしい。そのためには、皆の意見から議員提案の議案をだして、その結果を報告してほしい。

〈回答〉 出張所の件について、旧市内に近いという事で、旧市内とみなされ作らなかった。現在、高齢化も進み見直す必要性が出てきたのも確かで、出張所を作るかコミュニティー化とするかである。

〈回答〉 市の会計、私も民間企業出身なのでその意見は、良く分かる。2～3年後には、資料の1つとして複式簿記を取り入れる予定と聞いている。

〈回答〉 議員は市長を攻める側と言う事はおっしゃるとおりだが、市の借金を増やすわけにはいかないのも事実である。しかし、議員提案をどんどん出していくことは必要である。

〈質疑〉 健康作り、体力作りの体操について、宇多津には年齢、体力、持病等にあった体操が行われている。坂出には、はつらつ体操教室はあるが、あれは健康体の人を対象にしているとしか思えない。もっときめ細かいサービスにしてほしい。

〈回答〉 人にやさしいきめ細やかな事業が大事だと言う事は、そのとおり。議員もいろんな所へ視察に行き、勉強しているし、これからも勉強し続けて議会に反映していきたいと思う。

〈回答〉 意見は、我々も大変参考になった。議会に持ちかえり、理事者側と協議していきたい。

〈質疑〉 関連して、飯山の保健センターは体力作りの器具があり、温泉にも安く入る事ができる。昔の井戸端会議的なことができる、ふれあいと体力作りができる場所を作ってほしい。

〈回答〉 今まさに健康寿命が大切と言われてきている中、非常に大切なご意見、ご要望なので、持ち帰り検討したい。

〈質疑〉 熊本でおきた地震でも避難場所の耐震化が大切であると再認識させられた。坂出の防災対策はどうなっているのか。

〈回答〉 耐震化については、坂出は進んでいる方である。まず、大切な子どもを守るべく学校から耐震化を図った。避難場所にもなっている。あと対策本部となる市の庁舎も建て替えるべく、予算を積み立てているところである。

あと、みなさんに聞きたいが、12時と5時に防災無線から音楽が流れているが、よく聞こえているか。

〈返答〉 良く聞こえる。今までのサイレンでないので、すごく良い。

〈質疑〉 市税が減少するなか、ふるさと納税に力を入れるべきではないか。

〈回答〉 今年からJTBと協定を結び、全国へアピールしていく方針。また、クレジットカードでの納税も可能とし、より利用しやすくなり、ふるさと納税の税収が増えるよう取り組みが始まった。できれば目標は高く1億円を目指して、頑張ってもらいたいと思っている。

〈回答〉 ふるさと納税に関しては、返礼品のサービス合戦で赤字を出している自治体もあると聞く。ふるさと納税の出来た趣旨を忘れず、税収増に励みたい。